

NEWS

2006.9~2007.2

東京藝術大学 創立百二十周年



平成十九年、東京藝術大学は、母体である東京美術学校、東京音楽学校が設立されてから百二十周年を迎えます。これを記念し、平成十八年十二月四日、奏楽堂一階ロビー（ホワイエ）において、各界及び関係者との共同、協力により記念事業を行うことを発表しました。

記念事業は、展覧会事業、演奏会事業、共同映画制作事業をはじめとした七つの事業を柱として、平成十九年四月から平成二十年三月末まで年間を通して展開されます。

交流

◆大学間国際交流協定締結
平成十八年十一月三日、東京藝術大学美術学部長とウィーン工科大学建築・地域計画学部長（オーストリア）は、芸術に関する交流及び教育研究協力をを行うことに合意し、芸術国際交流協定を締結した。また、十二月一日、東京芸術大学長とロンドン芸術大学長（イギリス）は、芸術国際交流協定を締結した。この調印により、本学における交流協定締結校は十三か国（地域、三十二大学等）となった。

受章・受賞

◆林康子教授が
紫綬褒章受章
平成十八年秋の褒章において、音楽学部声楽科の林康子教授が紫綬褒章を受章された。

◆芸大に法務大臣から
感謝状
十二月十一日、第五十六回「社会を明るくする運動」に協力したとして、法務大臣から東京芸術大学に感謝状が贈られた。贈呈式には、宮田学長が出席した。

御挨拶

我が国の芸術教育を実施するに当たつての諸事項を調査するため、音楽取調掛が明治十二年に、図画取調掛が明治十八年に文部省に設置され、明治二十年にそれぞれ東京音楽学校、東京美術学校と改称されました。そして、東京藝術大学は戦後の学制改革により昭和二十四年、前述の両校を母体として、国立で唯一の芸術に関する教育研究を行う大学として発足しました。

平成十九年は東京美術学校、東京音楽学校が設立されて百二十年を迎えますが、この間、専門教育の機関として、また博士課程も有する研究機関として、数多くの卒業生、研究者を通じて、我が国の芸術界に大きな役割を果たしてきました。

平成十六年に東京藝術大学は国立大学法人となり、大学の運営形態が大きく変化するをえなくなりましたが、これを契機として藝大らしさを發揮して打って出ようと考えております。

この百二十周年を記念して、東京藝術大学は、各界及び関係者との共同協力により記念事業を行います。これらの事業が大学発展の大きなバネとなることを期待しています。世界に伍しいける芸術大学に、また地域に根ざした愛される芸術大学となるよう考えております。本学のいっそうの発展のために、これら事業が充実実施できるように、ご協力の程宜しくお願いいたします。

東京藝術大学長 宮田 亮平



運営

◆第二十回伊澤修二先生
記念音楽祭開催
十月二十八日、長野県伊那市高遠町文化体育館において、第二十回伊澤修二先生記念音楽祭が行われた。東京芸術大学創立百周年を期に始められた同音楽祭は、東京音楽学校（現・音楽学部）初代校長伊澤修二の出身地である長野県高遠町（現伊那市）において毎年秋に開催されているもので、大学と地域、そして学校が共同でつくり上げている。

伊那市が来場者にアンケートをとったところ、内容に関しては、二十年の連携・協力が評価され、概ね好意的な意見が多かった。

◆邦楽演奏会

〓市川染五郎さんを迎えて〓
十月二十九日、足立区と本学音楽学部の連携事業の一環として、西新井文化ホール「ギャラクシティ」において、本学邦楽科の教員による演奏会が、歌舞伎役者・舞踊家の市川染五郎さんを迎えて開催された。

葛西聖司NHKエグゼクティブアナウンサーが進行を担当し、舞台転換の間に、軽妙な曲目解説で観客に邦楽の面白さをアピールした。

演目の最後には、舞踏「破れ葉山子」（山田流箏曲）を市川染五郎さんが初披露した。先代の染五郎（現松本幸四郎）氏が初めて舞った演目を若々しく軽やかに舞う姿に観客は大いに魅了された。

創立百二十周年記念事業

展覧会事業

(大学美術館)

「パリへー洋画家たちの百年の夢」「藝大コレクション展」「岡倉天心ー芸術教育の歩みー」

(陳列館)

「自画像の証言」展、「藝大茶会」のほか研究室主催による展示

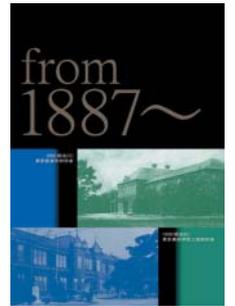
演奏会事業

(奏楽堂)

「学長と話をしよう」「藝大プロジェクト07」「上野の森・オルガンシリーズ07」「うたシリーズ07」「管楽器シリーズ07」「ハイドゥンシリーズ07」「百二十周年記念音楽祭」など。

映画制作事業

日中韓の国立三校の学生による混成スタッフにより、準備を含めてはば一か月間に六編の短編映画制作を三方国で行うもので、本学横浜校地で上映されます。



地域連携事業

台東区で実施している七つのプロジェクトを「タウンアートミュージアム」として位置付け、加えて、取手アートプロジェクトやこれら活動が始まる足立区、丸の内地区等を含めて地域連携事業を進めていくもので、町全体がミュージアムとなり、地域文化の活性化に寄与し、教育活動の還元現場としていくことを理想としています。

シンポジウム

公開シンポジウム「芸術と教育2007」

ー芸術教育の新たな展開ー

芸術と教育の在り方を包括的に考えるシンポジウムで、芸術文化及び教育の振興において本学が果たしてきた役割を検証するとともに、芸術教育の新たな方向を提起するこの試みは、芸術文化と教育振興拠点形成へ向けての発火点となるものと思えます。

施設整備事業

正木記念館リニューアルオープン

正木記念館は、東京美術学校の第五代校長である正木直彦先生の長年にわたる功績を記念するために一九三五年（昭和十）に建設されました。鉄筋二階建ての建物で、二階は、書院造りの和室になっています。学内整備のため近年、一階は閉鎖していましたが、彫刻家の平樹田中先生の作品他を展示する田中記念館を復活するとともに、教育と研究のための展示収蔵の場として活用し、広く一般にも開放していきます。

連携組織事業

●「東京藝術大学の海外拠点作りに向けて」
海外における本学の芸術活動の拠点作りを未来に見据え、本学に留学し、各々の母国で活躍する人たちのネットワーク構築を整備します。

●「社会連携センターの設置」

学長直属の組織として、対外的な窓口となり、自治体や企業、他大学などを始め、外国の諸機関とも連携し、さまざまな共同プロジェクトを積極的に推進するとともに、芸大の外部への発信機能を強化していくものです。

記念事業の詳細については、順次、東京芸術大学ウェブサイト(<http://www.geidai.ac.jp>)に掲載しますので、ご覧ください。

◆映像研究科博士後期課程開設が認可

十一月三十日、大学院映像研究科(博士後期課程)映像メディア学専攻の開設が認可された。

映像メディア学専攻は、映画史や映画理論を中心とした一般的な博士課程とは異なり、東京芸術大学の特質を生かし、「つくる」という知見と経験を重視しながら、新たな「実践的な知」を構築することを目的として、映像メディアにおける言語と文法を研究する博士課程として構想されている。平成十九年四月開設予定。

◆日枝神社天井絵の

表現研究制作過程を披露

十二月七日、美術学部構内において、絵画科日本画研究室の「日枝神社における古江戸・武蔵野の植物画(天井絵)の表現研究と創造」の制作過程が披露された。この研究プロジェクトは、日枝神社(千代田区)から宮田学長に依頼され、「学生に対して本物をつくり、みせる場を提供したい」と引き受けたもので、現在、宮田学長監修のもと、日本画研究室が受託研究として行って

いる。

日枝神社草創期(鎌倉中期から北条時代)、古江戸、武蔵野に咲き乱れる百花・草・木を百二十三枚(縦横約七〇cm)のヒノキの板絵とし、岩絵の具により古色を使い表現する。今回は、上拜殿に納める四十八枚が展示され、残る下拜殿の天井画も、今後二年をかけて制作する。

◆藝大フレンズ加入者状況

加入者数(平成十八年十二月三十一日現在)
賛助フレンズ個人一四八名
法人六団体

◆今年度下半期に開催された主な展覧会、演奏会記録

NHK日曜美術館
会期 九月九日～十月十五日
入場者数 約九万七〇〇人
奏楽堂
藝大オペラ定期第五十二回
開催日 十月八日、九日
入場者数 一五三八人

このところ芸大内では、今まで以上に「音楽と美術の接点」の可能性を垣間みる機会が増えている。前号の音楽環境創造科の誕生もその一つだが、今回の藝大アートプラザ特集での座談会でも、両学部の仲介役として「アートプラザ」への期待が大いに膨らむ。

昔から互いに敬意は払いつつもほとんど接点がなかった両学部が、「アートプラザ」という市場によってその目線が変わろうとしている。

社会連携や産学連携といった外の視点も重要だが、まずは、身内通しが互いにコラボレートし、あらたな芸術発信材料を構築するという内側の視点が先決である。美術は視覚以外の感覚を、音楽は聴覚以外の感覚に目を向ける、確実にそんな時代になったのかも知れない。

藝大通信編集長
長濱雅彦

展覧会・演奏会の最新情報は、東京芸術大学ウェブサイト (<http://www.geidai.ac.jp>) をご覧ください。

展覧会についてのお問い合わせ
東京芸術大学大学美術館 Tel 050-5525-2200
NTTハローダイヤル Tel 050-5777-8600

演奏会についてのお問い合わせ
東京芸術大学大学音楽学部演奏企画室 Tel 050-5525-2300

演奏会チケットの取り扱い
藝大アートプラザ Tel 050-5525-2102
ヴォートル・チケットセンター Tel 03-5355-1280
チケットぴあ Tel 0570-02-0990
東京文化会館チケットサービス Tel 03-5815-5452

藝大アートプラザのご案内
(株) 藝大BiOn (ピオン)
Tel 050-5525-2102 Fax 050-5525-2486